

子供たちの自学力を 育むために

今年度、三次市教育委員会から三次市小中一貫教育「モデル地域」指定を受け、町内4小中学校が目標を一にして取組をはじめ、1年が経とうとしています。私は、先般、3小学校の「1/2成人式」、そして中学校の「立志式」に参列させていただきました。どの学校の児童も生徒も、そして参列された保護者・地域の方々も感動されていました。

これまでの会員の皆様方の日々の努力により、「自学力」育成、そして「ふるさと『きさ』」を誇りに思い、「きさ」で学んで良かったと思える」教育の礎ができつつあると感じております。

2年目の次年度は、この礎の上に、しっかりとした4本（4校）の太柱を立てる年です。今年度、皆様方で共有した「自学力が身に付いた『きさ』の子のイメージ」を具現化するために、各自が自分の実践を次の2点で振り返り、4月から自分が教えた「児童・生徒が明らかに変わった。変わってきた。」と胸をはっていえるような「きさ」の教育をみんなで創造していきましょう。

- ①自分の授業は、児童生徒に学び方を確実に教え、児童生徒が自ら考え、積極的に表現できる主体的な学びになっているか。
- ②自分の生徒指導は、児童生徒が自ら自分を律し、積極的に、いつでもどこでも「挨拶・返事・履物揃え」ができる児童生徒を育てているか。

「きさ」小中一貫教育推進協議会会長 小丸 幸則



中学校出前授業 ～体育科～

新1年生となる町内3小学校の体育科の指導として中学校体育科担当の中山教諭が出前授業を行いました。テーマは「短距離走」です。4月に行う新体力テストの結果を見ても本町の子供たちの走る力は、県平均と比較して低い状況があります。専門的に走り方のアドバイスをすることで今まで以上にタイムを縮めることができるのです。

出前授業の中で特に留意をして指導いただいたのは次の3点です

- ①腕を前後に大きく振る
- ②膝を高く上げる
- ③スタートを低くし走る

もちろん授業の始まりと終わりの元気な挨拶は言うまでもありません。

○今日の2時間目は、体育で中学校からいらっしゃった先生に50m走を教えてもらいました。まずは50m走をするための準備運動のような馬跳び、ふっきん、前の人のまねをしながら外周を走りました。それをしたらいいよ50m走をしました。まずは「姿勢」のままで走りました。手がじゃままで走りにくかったです。だからじゃまにならないように「バンザイ」をして走りました。これも走りにくかったです。だから最後は、普通に走りました。「バンザイ」「姿勢」より速く走れました。（児童感想より）

